



校長室だより No.33 令和6年2月16日(金)

## 常磐が日本に誇る祭り 「滝山寺鬼まつり」

明日17日(土)に、「天下の奇祭」として知られる愛知県の無形民俗文化財「滝山寺鬼まつり」が一般公開されます。先日、常磐小学校にCBCテレビの方が来校され、鬼まつりに関わる取材をされていました。日本各地の有名な祭りを特集していて、その一つに滝山寺の鬼まつりが選ばれ、3月16日(土)午後4時から放送されます。ぜひご覧ください。



この番組の内容紹介には、以下のように書かれています。

愛知県岡崎市の瀧山寺は、奈良時代に創建された古刹（こさつ・由緒ある古いお寺のこと）で、天台宗の寺院である。境内には国指定重要文化財を有し、運慶と、その息子、湛慶（たんけい）による仏像彫刻が人々の祈りを受け止めている。そして、鎌倉時代からおよそ800年、奇祭「鬼祭り」を伝え続けている。起源は、源頼朝の祈願により始められたと伝えられる。その祭りに登場する鬼面は、祖父面（そふめん）、祖母面（そぼめん）、孫面（まごめん）の3面。鬼（邪鬼）を祓うのが慣わしという概念がある中、この祭りに登場する鬼たちは、彼らが邪鬼を祓う役目を担っている。ゆえに彼らは、鉞（まさかり）や撞木（しゅもく）、鏡餅など神霊の依り代や、太陽を意味する道具を手をしている。人々の心の支えとして寺に住まう仏像や、鬼面。そして激しく乱舞する炎、生身の肉体の躍動との融合の中に、この奇妙にも鬼に福を託した人々の祈りの深さを見つめる。

今年の孫面は、常磐小学校4年生の中根健斗（なかねけん）さんが務めます。健斗さんは、「毎朝、邪鬼を祓うためにお経を読んできました。明日は、緊張せずに鬼祭りを頑張りたいです」と、力強く意気込みを語ってくれました。他にも、常磐学区に関わりのあるたくさんの方々が鬼祭りを支えてくれます。ぜひ家族で見に行けるといいですね。

## 長縄チャレンジ 学級で協力して記録への挑戦

昨日、第4回目の長縄チャレンジがありました。これで最後ということもあり、いつも以上にどの学級も燃えていました。その結果、これまでの最高記録を更新する学級もあり、中でも1年1組は、これまでの過去最高の記録を53回も上回る217回と、驚きの記録を達成しました。どの学級も、みんなで励まし合い挑戦したことに価値があります。

最高	164		223	205	253	315		351
学級	1の1	1の2	2の1	3の1	4の1	5の1	5の2	6の1
ラスト	217	116	128	126	167	201	248	215
3回目	198	119	130	71	87	140	216	264
2回目	211	114	84	104	118	199	223	
1回目	185	100	86	134	100	206	172	